

卒塾生の手紙 ②

本気塾の皆さん

今年も残りあと3半月を切りましたが、如何お過ごしでしょうか。今回は押川先生をはじめとする本気塾の皆さんに、入籍のご報告とこれまでの感謝の気持ちをお伝えしたいと思い、こうして手紙を書いています。

この度、[REDACTED]と入籍いたしました。ここに至るまでには、本気塾の皆さんには本当に沢山助けて頂きました。今の私が在るのは、本気塾のお陰以外の何ものでもありません。ですから、今回このように入籍のご報告ができる事を本当に嬉しく思います。

今でも度々本気塾で生活していた時の事を思い出しますが、私の家族は3人姉弟全員が本気塾のお世話になっているんですよ。学校にも行かず"家に引きこもり妹に暴力を振り続けた弟、度重なる衝突の後に学校の同級生に大怪我を負わせ、保護監察処分になった妹、そしてヤクザの構成員の男と同棲し、気付かぬ内にその世界から抜け出せない所にいた私…。

しかし今では、押川先生をはじめとする本気塾の方々の風夜を分かちあいの底からのご指導のお陰で、3人とも社会に復帰することができています。弟は仕事をしながら定時制の高校に通っていますし、妹も結婚に子供にも恵まれ、今は子育てと仕事の両方に一生懸命です。

私は(蓋を剥けてみると3兄弟の中で一番最悪な問題児だったわけですが)本気塾での2年間のご指導のお陰で、自衛隊の採用試験に合格することができました。

本気塾に入塾した頃の私は、派手な化粧と服に身を包んだホステス
でした。高校卒業後から定職に就くことはなく、働く事が嫌いで、
友人・男性関係にしても、その場限りの刹那的なものばかりでした。
とりあえず遊ぶお金があって、近くに財布代わりの都合のいい
男がいれば満足でした。そして、入塾に際しては私が一番大変
な事になっていたにも関わらず、入塾する意味すら分からせていません
でした。自分に更生の必要性があるとも感じていなかったのが、

でもそんな私に本気塾の力は本当に根気強く語りかけ、
また時には私が自分自身で答えを導くのを静かに見守って
下さいました。

本気塾では皆体を動かす仕事に従事しますが、汗水垂らして
とにかく必死で働くことで、社会の一員として働くというのが、ど「うい
うことなのか、また生活をするということの大変さを身をもって学ぶ」
ことができました。これまでいかに楽に稼ぐかしか考えていな
かった自分が、ど「うだけ社会を馬鹿にしていたか、そして「生きる」
と言うことに対していい加減な「たかを少しづつ考えるようになりました。

そして、職場の先輩との衝突は絶えず、途中で職場を
飛び出したり、本気塾に泣いて帰ったことも1度や2度ではありません
でしたよね。でもその度に、本気塾のスタッフの方は、時には
他の塾生を交えて、私の問題を考え、夜を徹して真剣に話し合っ
てくれました。そのお陰で、私は自分の精神的な弱点や問題点を
客観的に受け止めることができましたし、問題を沢山起こしてしまっ
た職場でも最終的には良好な人間関係を築け、卒業の日まで

勤めることができました。

前にも書いたように入塾当初は自分自身の問題点を全く認識していなかった私でしたが、本気塾での話し合いや指導、そして汗を流して無心で働くことが、過去の自分を見つめ直すことにも繋がっていたのだと思います。徐々にはありますが、入塾に至った自分自身の問題点や、家族の問題を冷静に考えることができるようになりました。そして、その生活の中で身につけさせもらった「自身を冷静に分析する」ということは、今後の私自身の人生においても重要になってくるのだと思います。

本気塾の皆さんのサポートの陰で、私は自衛隊に入隊することができ、それを期に卒塾しましたが、入隊後も本気塾は私の心の拠り所でした。辛く厳しい訓練を乗り越える事ができたのも、本気塾での2年間で私に根付いてくれたからだと思います。「もう嫌だ」と投げ出しそうになった時は、いつも本気塾での話し合いや、押川先生の言葉を思い出して「まだやるぞ」と自分に喝を入れてきました。そして、
と、今回縁あって入籍することにもなりました。

卒塾をしても、自衛隊の訓練を乗り越えても、結婚しても、まだまだ私は未塾であり、そこから人生には不安が強くあります。きっと今後多くの障害や壁にぶつかることがあるでしょう。けれどその時には、本気塾で教えて頂いたように自分自身の心や、問題の本質をしっかりと見つめて、最善の答えや解決策を導き出しています。そして、いつかは私も自分のことだけでなく、今度は私自身が周りの人を支えたり、誰かの助けになれるような人前に成長してい

たいです。そうあることが、押川先生を始め本気塾の皆さんへの
恩返しに「繋ぐ」役だと思っっています。

これから本当にありがとうございました。

2012.12.22

